



# 株式会社田中化学研究所

2014年3月期 決算説明会  
2014年6月2日

Tanaka Chemical Corporation

## 目次

1. 決算ハイライト
2. 2014年3月期のトピックス
3. 製品別販売数量推移
4. 営業外収支および特別損益
5. キャッシュフロー計算書
6. 比較貸借対照表
7. 中期経営基本方針及び戦略テーマ
8. 2015年3月期予想
9. 製品別販売数量推移予想
10. 2015年3月期業績予想の補足説明
11. 主原料国際価格推移

# 決算ハイライト

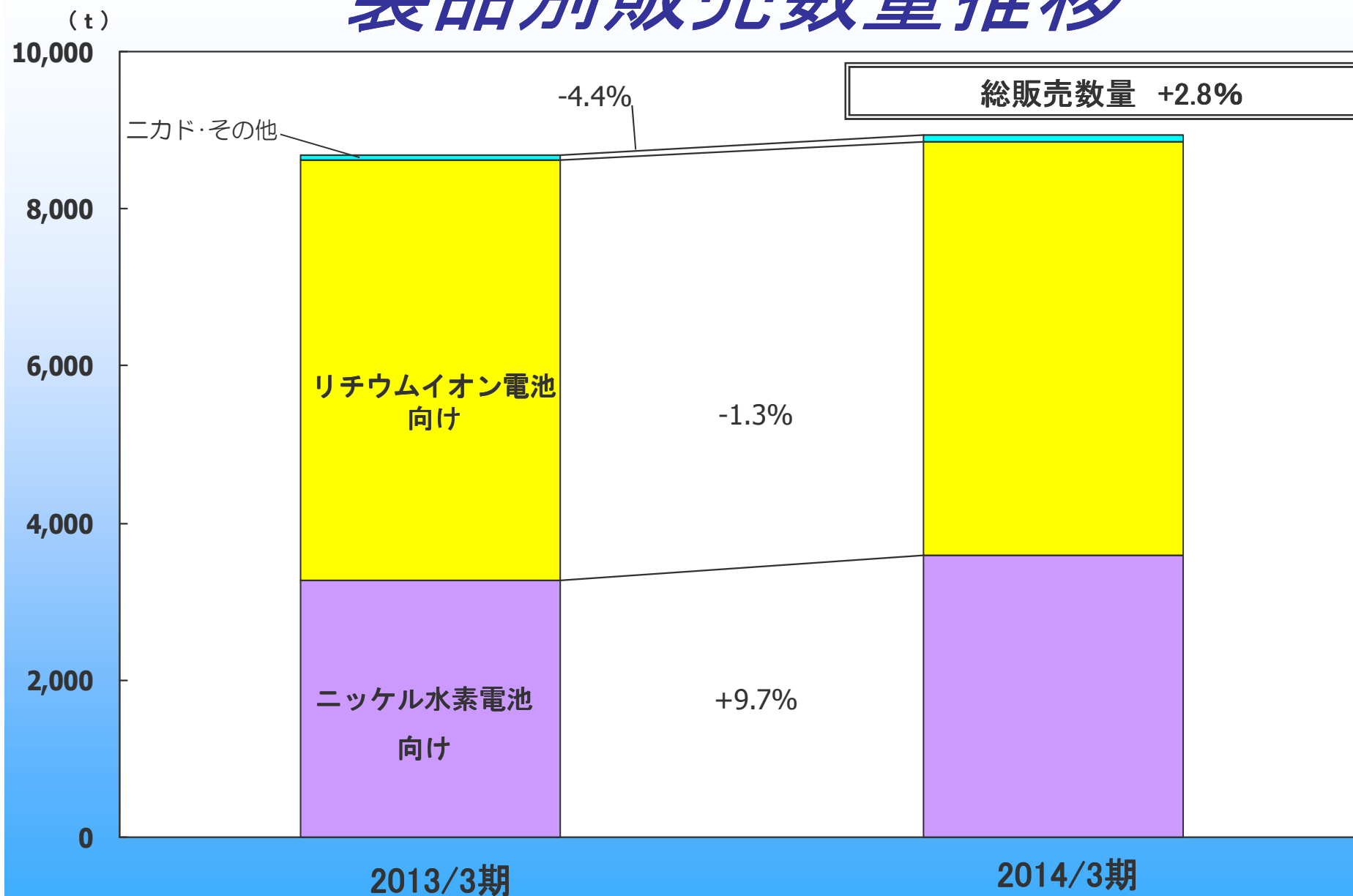
(百万円)

	2013/3期	増 減	2014/3期
売上高	9,035	+1,624 (+18.0%)	10,660
営業利益	▲1,127	+650	▲476
経常利益	▲1,600	+973	▲627
税引前当期純利益	▲1,363	+654	▲709
当期純利益	▲1,369	+654	▲715
EPS(円)	▲108.25	+56.63	▲51.62
設備投資	499	▲189 (▲37.9%)	310
減価償却費	1,182	+126 (+10.7%)	1,308
期末従業員数	195名	▲15名	180名

# 2014年3月期のトピックス

1. 売上高は前事業年度比18.0%増加の10,660百万円。  
販売数量は全体で前事業年度比2.8%の増加。
2. リチウムイオン電池向けでは、民生用途におけるノートPC向けの不調や新興国メーカーとの競合は継続しているものの新規顧客獲得や新規用途への展開開始及び環境対応車用途の需要本格化により、ほぼ前年並みの数量を確保。
3. ニッケル水素電池向けでは、民生用途は前事業年度比で減少も、環境対応車用途の好調持続により、前事業年度比9.7%の数量増加を達成。
4. 円安の影響による輸出向けの収益改善や上記プロダクトミックス改善の影響等により、営業損失は前事業年度比650百万円の改善。
5. 住友化学株式会社と業務提携及び資本提携に関する契約を締結。  
2013年4月15日に428百万円の払込を受け、125万株の株式を発行。
6. 結果として、当期純損失は前事業年度比654百万円改善の715百万円となる。

# 製品別販売数量推移



# 営業外収支および特別損益

(百万円)

	2013/3期	増 減	2014/3期
営業外収支	▲473	+323	▲150
金融収支	▲103	▲32	▲135
その他	▲369	+354	▲15
経常利益	▲1,600	+973	▲627
特別損益	+237	▲319	▲81
補助金収入	+213	▲48	+165
固定資産除却損	▲11	▲89	▲100
固定資産圧縮損	▲192	+47	▲145
その他	+227	▲228	▲1
税引前当期純利益	▲1,363	+654	▲709
法人税等	+5	±0	+5
当期純利益	▲1,369	+654	▲715

# キャッシュフロー計算書

摘 要	2014/3期	(百万円)
<b>I. 営業活動によるキャッシュフロー</b>		
税引前当期純利益	▲709	
減価償却費	1,308	
固定資産除却損	100	
固定資産圧縮損	145	
補助金収入	▲165	
運転資金増減	▲658	
その他	▲12	
計 (A)	8	
<b>II. 投資活動によるキャッシュフロー</b>		
有形固定資産の取得	▲345	
有形固定資産の売却	80	
補助金収入	170	
その他	2	
計 (B)	▲92	
フリーキャッシュフロー(A)+(B)	▲83	
<b>III. 財務活動によるキャッシュフロー</b>		
株式の発行	428	
長期借入金の返済	▲146	
その他	▲1	
計	281	
<b>現預金等増減額</b>	220	
<b>期末現預金残高</b>	3,444	

# 比較貸借対照表

(百万円)

	13/3期	14/3期	増 減		13/3期	14/3期	増 減
<b>流動資産</b>	(6,634)	(8,522)	(+1,887)	<b>流動負債</b>	(3,188)	(4,527)	(+1,339)
現預金	3,224	3,444	+220	仕入債務	2,472	3,406	+933
売上債権	1,831	2,647	+816	借入金	66	534	+468
棚卸資産	1,363	2,138	+775	その他	649	586	▲62
その他	216	291	+75	<b>固定負債</b>	(8,887)	(8,202)	(▲684)
<b>固定資産</b>	(9,458)	(8,012)	(▲1,446)	<b>負債 計</b>	<b>12,075</b>	<b>12,730</b>	<b>+655</b>
有形固定資産	9,250	7,747	▲1,502	<b>純資産</b>			
無形固定資産	17	17	▲0	資本金	2,086	2,300	+214
投資等	190	247	+56	資本剰余金	2,703	2,169	▲534
				利益剰余金	▲749	▲715	+34
				自己株式	▲1	▲2	▲0
				評価差額金等	▲21	50	+72
				(自己資本比率)	(25.0%)	(23.0%)	
				<b>純資産 計</b>	<b>4,017</b>	<b>3,803</b>	<b>▲214</b>
<b>合 計</b>	<b>16,093</b>	<b>16,534</b>	<b>+441</b>	<b>合 計</b>	<b>16,093</b>	<b>16,534</b>	<b>+441</b>



# 中期経営基本方針及び戦略テーマ

## ➤ 基本方針

飛躍的な変化を遂げ、環境社会に貢献する。

## ➤ 戦略テーマ

1. 環境対応車用リチウムイオン電池向け正極材料の開発及び事業構築
2. 民生用リチウムイオン電池向け正極材料の開発及び販売戦略
3. ニッケル水素電池向け正極材料の販売戦略
4. コア技術を活用した新規材料開発
5. コスト力の強化
6. 強靱な組織体制の構築

# 2015年3月期予想

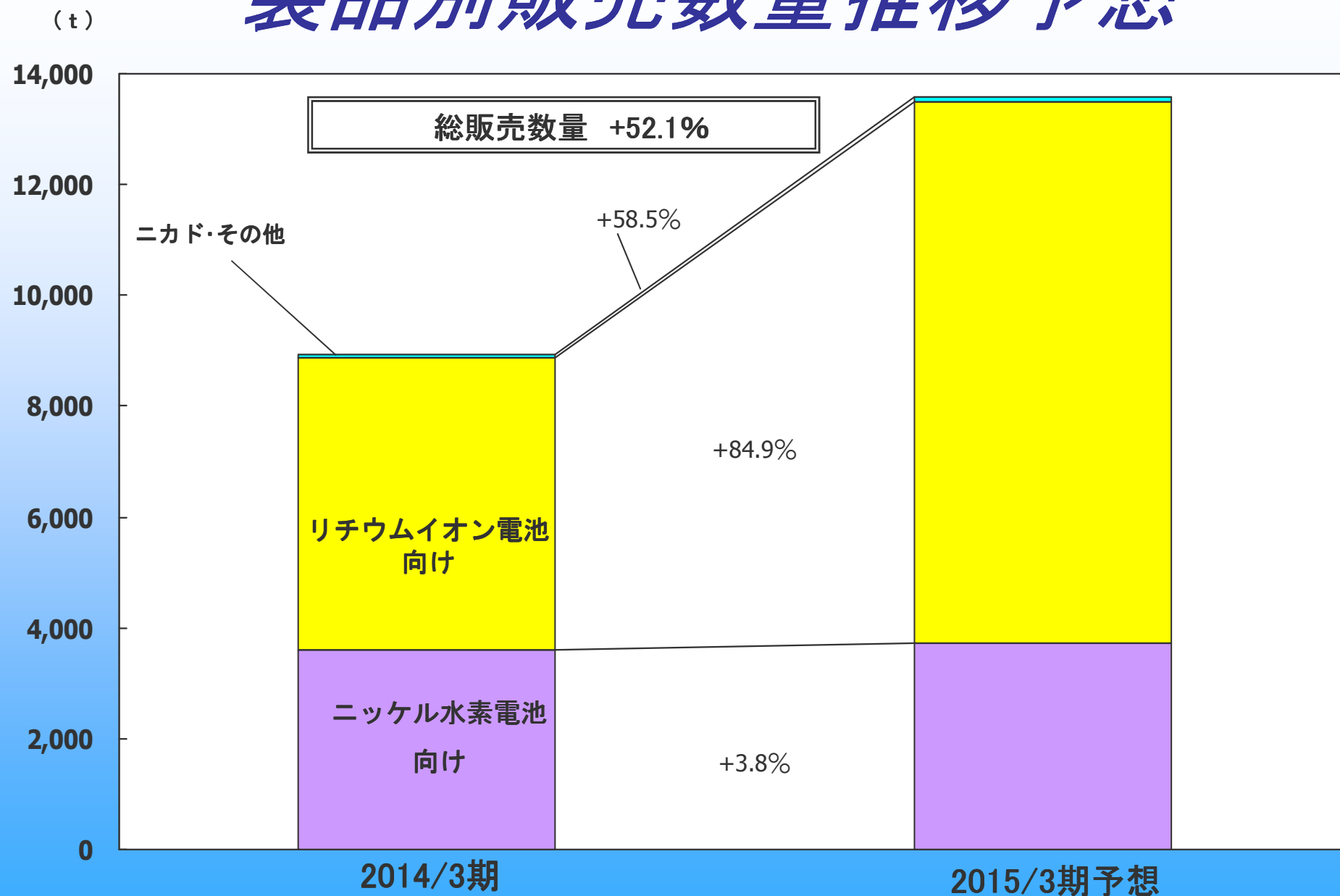
(百万円)

	2014/3期実績	前年比	2015/3期予想
売上高	10,660	+7,340 ( +68.8%)	18,000
営業利益	▲476	+646	+170
経常利益	▲627	+677	+50
当期純利益	▲715	+735	+20
設備投資	310	+360 ( +116.1%)	670
減価償却費	1,308	+192 ( +14.7%)	1,500

(5月15日公表ベース)

※業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

# 製品別販売数量推移予想



# 2015年3月期業績予想の補足説明

1. 当期の業績予想には、ニッケル・コバルト等の主原料メタル価格の変動要因は織り込んでいません。
2. 数量面では前年比51.2%の増加を計画しております。  
特にリチウムイオン電池向け材料では、環境対応車向け事業の拡大と民生向け新規顧客獲得や新規用途への展開を更に進めることによる大幅な増加を見込んでおり、リチウムイオン電池向け材料トータルで前年比84.9%の増加を計画しています。
3. 設備投資につきましては、670百万円を計画しております。  
また、減価償却費は1,500百万円となる見込みです。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

# 主原料国際価格推移

